

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	ホームも地域の一員であるとの考えから、自治会に加入し、回覧を通してホーム行事への参加を呼びかけたり、地区行事に積極的に参加し、子ども達との交流も図っている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議のメンバーは決められており、過去には開催されているが、今期は、今ところ開催に至っていない。	×
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	役場の福祉関係担当者とは、日常的に情報交換が行える関係がつくられており、内容によって協働する事もある。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	「グループホーム新聞」を毎月発行している。入居者の要望や職員の意見を聞くシステムは整っていないが、管理者はその都度聞き入れ、ホームの改装及び家族等が集い意見交換のできる、システムの構築について検討中である。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは木曾川に近い田園地帯に在り、周辺には福祉関係施設や町のグラウンド等があり、近所では地元農家による朝市が開かれる。特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所が併設され、行事は合同で行い、入居者、家族、職員は日常的に交流がある。また、消防訓練は入居者と職員が参加し、法人合同で実施する等協力体制ができています。法人の理念のほか、「楽しくともに助け合い暮らしましょう」「その人らしさやペースに合わせて穏やかに暮らしましょう」「そのひとの力を発揮できるよう支援しましょう」をスローガンとして掲げ、ケアの基本として実践に取り組んでいる。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。